



学校教育目標：『**ひ**るまず **が**んばる **し**き（志気）の高い児童の育成』

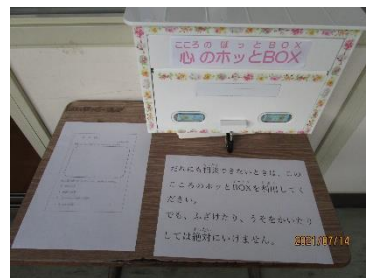
◆ 山内東小の約束：『相手がいやがることは **しない** **言わない**』

◆ 山内東小学校は「立腰教育ーあいさつ・返事・はきものそろえ」で頑張っています。

1学期後半がスタートしました！子どもたちの悩みを見逃さないように！

この夏休みは、大雨や新型コロナウイルスの急拡大があり、心が休まらないことも多かったですが、その中で子どもたちが大きな事故や怪我もなく学校に戻ってきてくれたことが何よりの喜びです。

しかし、長期休み明けは、生活リズムの違いや友達関係の悩みなどから、心身の不調を訴える子が増える時期です。まずは、そういう子どもをしっかりと見つけ、心に寄り添っていきたいと思います。また、言葉では言いにくい子のために、右の「心のホットBOX」を設置し、悩みを伝えやすくしたり、「保護者アンケート」をこれまで実施していた6月と11月に加えて、長期休み明けの9月と1月にも実施し、悩みが言いやすい環境を作っていきたいと考えています。



教育相談室の前に設置した
心のホットBOX(7月から設置)

1学期後半の始まり（8月25日）に「ボランティア」について話をしました。一人一人が「やさしさ、思いやり」活動を見つけ、「みんなが気持ちよく過ごせる学校」になることを願っています。

～1学期後半スタートの全校朝会（オンライン放送）での校長の話より～

「ボランティア」とは、なんでしょうか。「ボランティア」とは、「特別なことではなく、ちょっとした気配りや、困っている人を見つけたら手伝ってあげたいという「あなたのやさしさ、思いやりの心」が形になったものです。

では、ここでその「やさしさ、思いやりの心」が表れた行動について一つ紹介します。夏休みには、オリンピックを見て、たくさんの感動をもらった人も多かったと思いますが、その選手の活躍のウラで、あるボランティアの行動が世界中の感動を得ています。ニュースで紹介されていたので、知っている人も多いと思いますが、陸上選手で110mハードル出場のジャマイカの選手が試合当日、間違っただけで違う会場に来てしまい、どうしていいか困っていた時に、ある日本人のボランティアがとっさの判断で、オリンピック専用のタクシーを呼び、タクシー代を預けて、陸上会場に向かわせたそうです。そのおかげで、ジャマイカの選手は無事、会場に到着し、なんと結果的に金メダルをとりました。もし、このボランティアの「やさしさ、思いやり」がなければ、この選手は不参加になり、これまでの努力が水の泡になるところでした。この選手は、試合後、あまりの感激に、金メダルをこのボランティアのところに見せに行き、そのシーンをSNSにアップしたことから全世界に知れ渡りました。ジャマイカ政府は、このことにたいへん感謝し、ジャマイカ旅行と高級ホテルへの宿泊をプレゼントすることになったそうです。この行動は、「困っている人がいたら助けたい」というボランティア精神が自然に行動させたのだと思います。結果的にすごいプレゼントがありましたが、決してこのボランティアの人はそれを求めてやったことではないと思います。

今、学校では「ちょこっとボランティア」通称「ちょボラ」の子たちが、毎朝、進んで玄関前の掃除をし、気持ちのよいあいさつをしてくれています。まさに、この活動は、みんなに気持ちよく学校に来てほしいという「やさしさ、思いやり」活動だと思っています。

ぜひ、みなさんも学級や学校の人たちが気持ちよく過ごせるために「自分にできること」、「自分がしたいこと」を探してみてください。教室や廊下に落ちているごみを拾ったり、そろっていないスリッパをそろえたりすることも立派な「やさしさ、思いやり」活動だと思っています。学校じゅうでこの「やさしさ、思いやり」活動があふれ、みんなが気持ちよく過ごせる学校になることを願っています。



6日（月）委員会
6日（月）～11日（金）名札・帽子・防犯ブザー確認
~~16日（木）～17日（金）修学旅行（12月に延期）~~
17日（金）弁当の日
27日（月）～10月1日（金）ごみ拾い週間

【9月の生活目標】

気持ちのよい
あいさつをしよう

